

学校だより

2022.7.20

第5号

# 志こころざし



## 「志」をつなぐ！遠泳大会を終えて

7月8日。本校遠泳大会が無事に終わり、「次は『チャレンジスイミング』と『自然教室』だ。」と天気予報を確認しようと何気なくテレビをつけました。「安倍晋三元総理が遊説中に狙撃される。」という信じがたいニュースが流れていました。「心肺停止」ということから、無事を祈りながら、新たな情報があるのではとテレビをつけたままにしていました。「午後5時3分、お亡くなりになりました。」という報道に言いしれぬ不安感と焦燥感を感じました。この時、私が、まず頭に浮かんだのは、学習指導要領の論説に書かれている文章でした。「今の子供たちやこれから誕生する子供たちが、成人して社会で活躍する頃には、我が国は厳しい挑戦の時代を迎えていると予想される。～中略～また急速に変化しており、予測が困難な時代となっている。」子供たちは、まだ成人していませんが、明らかに予測困難な時代を象徴している出来事のように感じました。



さて、厳しい挑戦の時代、予測困難な時代を生き抜いていくために、本校では子供たちに、「大きな志をもち未来へ挑戦する力」をつけていくことを目標に教育活動を実施しています。その核となる行事の一つに、今年度27回目を迎えた「遠泳大会」があげられます。5年生・6年生対象の行事ですが、チャレンジスイミングでの下学年の様子を見てみると、「来年は、（再来年は）遠泳だから泳ぎきるぞ。」と志をもって泳いでいる姿を目にします。6年生の「私の志」の中にも、「仲間を信じて」「みんなで」など「協働」をイメージする言葉や「楽しむ」「おそれず」など「自己実現」の言葉が多くありました。遠泳に向けた練習の中で、緊張や恐怖から逃げようとしてしまう子もいました。しかし、本日は、そのようなことを忘れさせるような見事な泳ぎでした。もちろん、仲間や保護者、地域の方々の応援があったからこそ乗り越えられたこともあったでしょう。私は、「えーんやこーら、えーんやこーら。」この独特のかけ声の中に、第1回遠泳大会にチャレンジした先輩達から繋いできた「志」を感じずにはいられませんでした。

ゴール地点に多くの保護者に混じって、下学年の姿が見えました。今年4月に入学した1年生の姿も見えました。初挑戦で堂々と泳ぎ切った5年生の「志」、一列に並んでゴールした6年生の「志」は、間違いなく後輩達に引き継がれました。来年度の第28回遠泳大会に「志」は繋がったものと確信しています。



☆遠泳大会にご協力ご支援いただいた地域の皆様・保護者の皆様、誠にありがとうございました！

内外海小HP→



## ー夏休みを制する者は2学期を制す！ー

どこかの進学塾のキャッチコピーのような言葉ですが、そうではありません。いよいよ明日から、40日間の夏休みが始まります。「BA. 5」なる新たな新型コロナウイルス感染症の感染拡大は気になるところですが、戻りつつある夏のイベントに心躍らせている人もいるのではありませんか。

さて、「夏を制する者」とは、どのような意味なのでしょう。私がイメージしたのは、6月末の教育講演会で講師の 先生が最後に話された「①自分で考え⇒②自分で決め⇒③自分で守る」というサイクルです。夏休みのお便りの中に「わが家のルール」があったと思います。「起きる・寝る時間のルール」「テレビを見るときルール」「ゲーム・SNS・クロムブックのルール」「その他(読書やお手伝い)のルール」。まずは、①自分(お子さん自身)で考えてください。ただし、すぐに飛び越せるハードルでは考えたことにはなりません。ちょっと頑張らないと飛び越せないハードル(ルール)がいいです。よくお子さんと話し合ってみてください。②自分で決めてください。①でも書きましたが、簡単に飛び越えられるハードル(ルール)では頑張るところが少なくなってしまいます。達成できたとしても、大きな達成感は得られません。よく考えて決めてください。そして、最終的には、③自分で守ってください。自分で決めたことです。「③自分で守れた」ことが、つまり「夏休みを制した」ということです。

2学期の始まる8月30日(火)の朝を思い起こしてください。朝から目覚めすっきり、力がみなぎっています。9月17日(土)の体育大会も10月5日(水)の小浜市陸上記録会も10月20日(木)・21日(金)の修学旅行も・・・自分の力や考え、思いがしっかりと活動の中で反映されていきます。

「自律」という言葉があります。最近まで、人生において子供たちを「自立」させることが大切と考えてきました。この「自立」は「社会的・経済的に独り立ちする」ことです。しかし、先の「自律」はそうではありません。「自律」とは、「自己コントロール力をつけること」と考えます。夏休みは、この「自己コントロール力」をつけるには適した時期です。その中で、一つお願いしたいのは、「ふり返る」ことです。中間地点(お盆前)と夏休み最後の日に、お子さんとふり返りをしてください。「夏休みを制する者は2学期を制する！」ぜひ、有意義な夏休みを！

自然教室・オリエンテーリング



福井県教育委員会からのお知らせ

福井の子どもと保護者のための教育情報サイト「ふく e-portal(イーポータル)」を公開いたしました。アクセスにはQRコードをご利用ください。

問合せ先:福井県教育政策課 0776-20-0766